

医療被ばく低減施設について



甲府共立病院は県内唯一の医療被ばく低減施設です(2010年6月1日取得)。低減施設では放射線検査の被ばく線量(組織・臓器線量)を知ること、またこれに対する説明が可能です。線量を評価し極少の放射線量にて検査が可能ないように日々努力しています。使用している装置類についても精度管理・日常点検などきちんと行われています。

■ 事務長あいさつ

甲府共立診療所事務長

杉浦 春光 (甲府共立病院副事務長 兼任)

甲府共立診療所は、甲府共立病院の新館完成後、外来機能を担うために、2005年12月にオープンしました。建設にあたっては、安全でゆったりと通院、診察ができるように設計しました。また、建物が変わっても、「共立」らしさを失わないよう、職員一同、心がけています。7年目を迎え、毎日500名の患者さんが通院されています。一般の診療に加え、慢性疾患にも力を入れています。さらに、往診、リハビリも展開し、地域のみなさんの要望に応えようと奮闘しています。格差と貧困が地域に広がっています。診療所では、「無料低額診療事業」を開始し、お金の心配をしないで、とにかく受診・相談をと呼びかけています。こんな時こそ、共立診療所です。



■ 地域医療連携室より

平日のご紹介は、すべて「地域医療連携室」に事前にお電話でご連絡をお願いしております。

■ 診察依頼の場合

平日・時間内は、甲府共立診療所で診察を行います。但し、ADLの状況や病態によっては、甲府共立病院で診察を行うことがあります。

■ 入院相談依頼の場合

可能な限り入院ができるようベッドを調整しております。スムーズな入院受け入れのため、以下のような情報をお尋ねしますのでご了承ください。

- 1 患者様の名前
- 2 生年月日
- 3 病名(必要なデータなど)
- 4 ADL状況
- 5 認知症の有無

ご紹介をいただき、入院される方の入院までの流れは以下のようになっています。

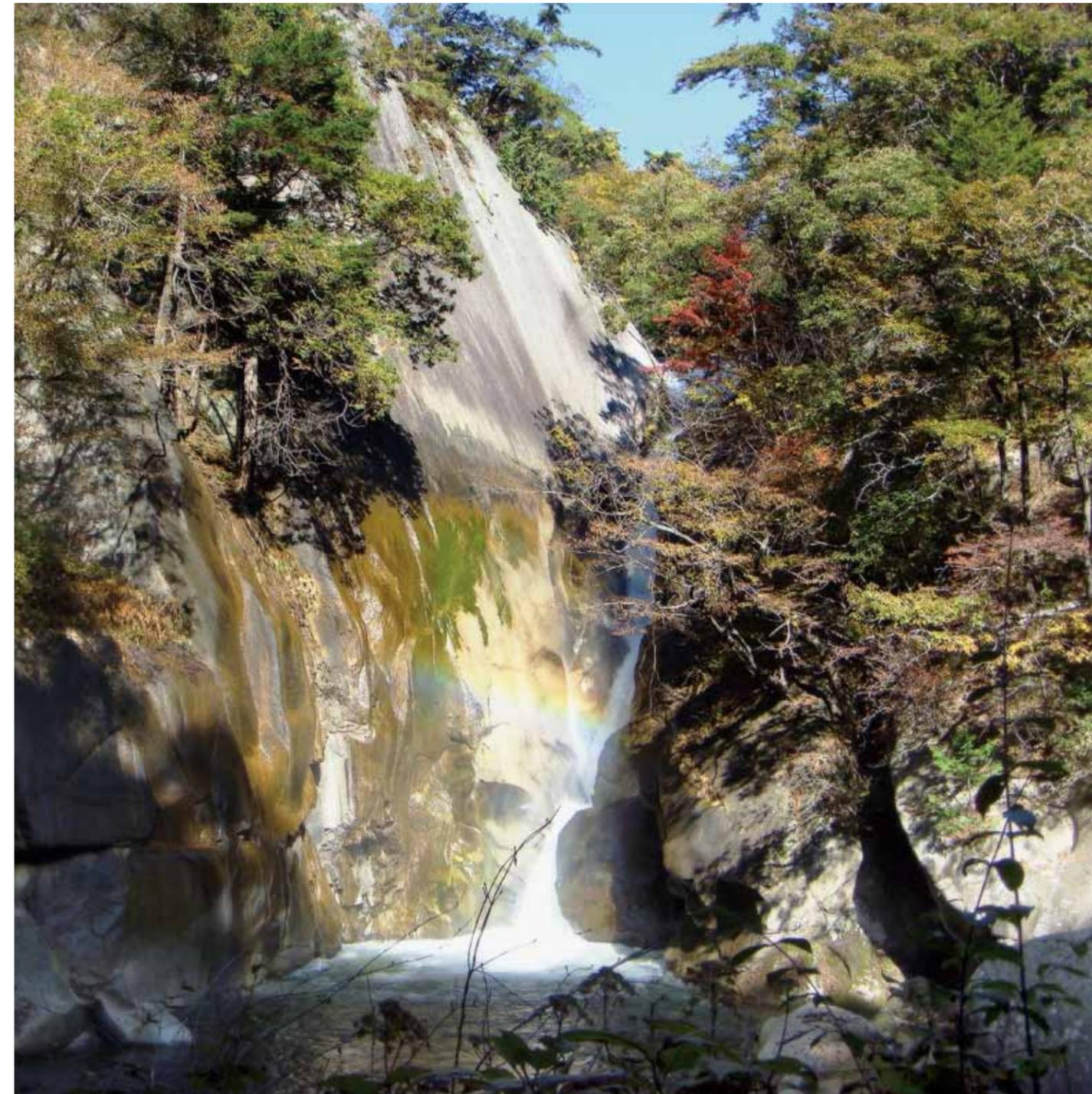
- 1 地域医療連携室で、受け付けをします。保険証・紹介状をご提示下さい。
- 2 紹介外来担当医師の診察を受けます。
- 3 患者様と相談の上、入院の具体的な内容を確認します。
- 4 看護師より、入院の説明・必要な処置を受けます。
- 5 入院病棟のベッドが用意できるまで、お待たせする事があります。

先生方のご理解、ご協力に大変感謝しております。
今後ともよろしくお願いいたします。



■ 表紙の写真

写真は昇仙峡 仙娥滝。昨年11月に、甲府共立病院 心臓リハビリテーション外来での外出企画のときのものです。心臓リハビリテーション外来では、毎週金曜日の午前中、心疾患を持つ方々が、有酸素運動や筋肉トレーニングなどを行い、療養生活に役立っています。普段は、屋内のリハビリ室でのメニューですが、この日は屋外へ出かけ、それぞれのペースで坂道を歩き、日頃の運動の効果を実感しながら、秋の紅葉を楽しみました。

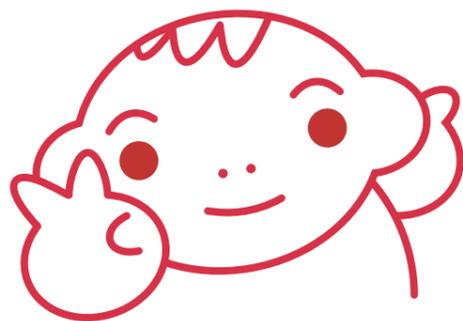


母から子へ平和を守るメッセージ ～産婦人科病棟の取り組み紹介～



甲府共立病院の産婦人科病棟では、毎日新しい命の誕生をサポートしています。たいへんな思いをしてわが子を産んだ母親にこそ、平和への思いが芽生えるのではないかと考え、平成19年から医療者と母親と一緒に取り組める平和を守る、憲法9条を守る活動を行っています。

生後1日目に撮った赤ちゃんの写真に、お母さんからのメッセージを添え、大きなタペストリーをつくっています。この平和を守る活動は、原水爆禁止世界大会でも紹介され、世界に向けて発信されました。これまでに、このタペストリーを飾った赤ちゃんの写真は2000枚以上。これからも、命を産み、命を守る産婦人科病棟の取り組みはつづきます。



The messages which preserves peace.

褥瘡回診と 皮膚・排泄ケア認定看護師の活動



平成14年度診療報酬改定により「褥瘡対策未実施減算」が新設されました。これを受け、当院もこの年から、褥瘡対策委員会を発足させ活動を開始し、その活動のひとつとして、褥瘡回診を行っています。

現在、回診は、褥瘡対策委員会の杉田医師を中心とした外科医をリーダーに、管理栄養士、褥瘡対策リンクナース、皮膚・排泄ケア認定看護師で病棟回診を行っています。回診は全病棟を対象に週2回行っています。

以前は褥瘡保有者が非常に多く、回診に2時間以上かかることもたびたびありましたが、現在は褥瘡予防対策が行われている成果もあり、褥瘡保有者は減少し、スキントラブル全般の相談に対応しています。

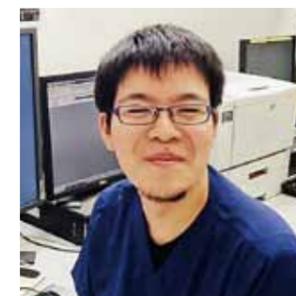
平成24年度の診療報酬改定では、「褥瘡専門訪問看護料」が新設されました。医療保険訪問看護を受けている方が対象など、条件付けがありますが、適応のある患者様のご相談に対応させていただきます。



林看護師(皮膚・排泄ケア認定看護師)



杉田医師と管理栄養士



地域連携室だより コメント

■ 川崎 英悟 医師

はじめまして。研修医1年目の川崎英悟と申します。出身地、出身大学ともに東京です。同じ研修医1年目の伊藤先生と同期で、杏林大学出身です。この9月より、縁あって甲府共立病院で研修をさせて頂くことになりました。

甲府共立病院で働かせてもらいたいと思ったのは、異なる職種同士でも距離が近く、スタッフ全員で一丸となって患者さんのための医療を実践できる雰囲気を感じたからです。

働き始めて1ヶ月、まだまだ分からないことだらけですが、なんとか日々の業務をこなしております。これからも至らないことは多々あると存じますが、少しずつ皆さんから吸収して成長させて頂こうと思っていますので、どうかあたたかい目で見守っていただければと思います。

これからどうぞよろしくお願いいたします。

RESIDENT
PHYSICIAN